

# 出稼ぎ者安全就労推進集会 体には気をつけ頑張っ

出稼ぎ者安全就労推進集会は、一月七日、村自然休養村管理センターを会場に、約三十人が参加して行われました。

村からは約百人が出稼ぎ者として首都圏など、古里を離れ就労しています。健康で安全に働いてもらうため村では、出稼ぎ者を対象に毎年、健康診断や激励会を開催。出稼ぎ先などを訪問しては、懇談会を行うことになっています。

深渡宏村長は、「安心して就労できることが一番大事なこと



鶺鴒神楽「松迎」を楽しみながら一年の無病息災を祈った高齢者ら

用者十人は、普代福祉会理事長でもある野崎会長からうれしい皆勤賞を贈られました。皆勤賞受賞者は、次の方々です。

敬称略

- 深渡宗右エ門（八一・緑区）
- 大上喜広（七九・旭日区）熊谷好巳（七四・茂市）
- 中田富雄（七〇・白井）
- 藤島光雄（七四・堀内）
- 鍋梨二ノ（九〇・鳥居）
- 大上チャウ（九〇・太田名部）
- 村尾ハマ（八八・堀内）
- 松葉ハナ（八五・緑区）
- 中居セツ（六七・鳥居）



「事故のないように頑張ってください」と激励する深渡村長（中央）

水田蔵会長が、「求人も賃金のアップも期待できないが、税金を納めることができるような働きをしましょう。納税は、景気回復につながっていきます」と励ましています。

です。事故のないよう健康管理には十分気を付けて頑張ってください」と、あいさつ。久慈労務者協会の浅

## 黒崎小学校わんぱく坊主育成講座 そば打ちとミズキ団子に挑戦

黒崎小学校（佐々木一夫校長、児童十八人）第五回わんぱく坊主育成講座が、一月二十七日、同校を会場に行われ、そば打ち体験とミズキ団子作りに児童らは挑戦しました。

育成講座には、黒崎老人クラブ（片座亮一会長、会員九十六人）から金子タキさん（六八）、新屋美和さん（七六）、

金子文子さん（七二）、駒木幸子さん（六〇）、金子亮子さん（六七）、正路定子さん（六六）、正路フウ子さん（七一）の七人が同小学校を訪れ、そばの練り方やミズキ団子の作り方を児童らに指導しました。

子どもたちは、そば作り班、



「こしのあるそばにしましょう」と力を込めて練る金子さん（右）と児童たち

ミズキ団子班とそれぞれの班に分かれ体験を楽しんでいました。

心を込めて練ったそば粉が、そば昼食会になりました。味は格別で指導していただいたおばあちゃんたちに感謝しながら、おかわりをするなどしておいしそうにそばを口に運んでは汁をすすっていました。



ミズキ団子作りを指導する新屋さん（右）

佐々木校長は、「農家で育ちましたので、ミズキ団子はよく知っています。来年の豊た。

作をお願いした記憶があります。学校で取り組んでいくことが必要と思いい企画しました。子どもたちにはしっかりと伝統を受け継いでいってほしい」と願いを込めて語ってくれました。

児童たちはこのあと、グラウンドに集合。冬休みに作ったたこを持ち寄って、たこ揚げ大会を行いました。

大会には父母も参加。小雪交じりのグラウンドには、「たこ」と「歓声」が天高くあがっていました。